
パパ聞き！～オリ主は小学生！？～

?紫苑?

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

パパ聞き～～オリ主は小学生！～

【Zコード】

N4859W

【作者名】

?紫苑?

【あらすじ】

パパの「～～」と聞きなさいの一次創作小説が少なかつたので書いてみました。

会話文がかなり多いです

人物紹介（前書き）

初めましてはるです

人物紹介

長谷川 悠 (ハセガワ ユウ)

身長163?
体重41?

小学5年生

容姿

誰から見てもイケメン
けど自覚なし

金髪 赤目

短髪

性格

大人びている
誰にでも優しく好かれている
本を読むのが好き

運動神経抜群で成績優秀

完璧超人

備考

炊事 洗濯何でもできる
喧嘩は強いけど自分からはしない
ブラコン気味

身長152?

長谷川 真 (ハセガワ マコト)

体重48?

中学2年生

容姿

悠が上の上だとすると

真は上の中

黒髪 青い目

前髪で目が隠れている

性格
おとなしく

あまりしゃべらない

しゃべるときは「・・・」を最初につける

兄弟をバカにされるとキレる

喧嘩は強いけどめったにしない

備考

料理の腕は皆無

塩酸を入れようとするが

悪気はない

悠を手伝いたいと思っているが
邪魔をしてしまつてることを

申し訳ないと思つてゐる

長谷川 友 (ハセガワ トモ)

身長97?
体重16?

3歳 保育園児

容姿

かわいい

男の娘みたいな

性格

おにーちゃん大好き

特に悠が大好き

明るく元気

悠のことは「おにーちゃん」

真のことは「まこと」と呼ぶ

小鳥遊 タカナシ

美羽 ミウ

身長136?

体重28?

小学5年生

容姿

アイドル張りの美貌を誇る美少女

金髪で黒目

ツインテール?

上の上

性格

大人びていて

女子力の高い小悪魔系
かわいいけれど

その性格のよさで憎まれない

頭もいいし

運動もできる

備考

悠と同じクラスで

悠の隣の家に住んでる

親は飛行機の事故で行方不明

大学生の叔父さんに引き取つてもらつた

杉原 祥子
スギハラ サチコ

身長143?

体重33?

小学5年生

容姿

体育会系

ボーカル

中の上

性格

おおやつぱ

備考

美羽の親友

あだ名は「サツチン」

悠と同じクラス
悠は「サツチャン」と呼んでる

人物紹介（後書き）

続きを読むには早めに書こうと思います

1話目 ～登校～

「やべえ 転校初日なのに遅刻するとか不良とおもわれちゃうよ～」

「やっぱ チヤイム鳴っちゃったよ遅刻じやん
そう俺は今日、神山小学校に転校してきた。
けど、俺は今遅刻してしまったのだ」

「あつ！ あそこかな学校？ 近くに人がいるからきいてみよう」

「あのー すいません」

「はいっ 何ですか？（／＼／＼なんかこの人 かっこいいな）」

「ここって神山小学校ですか？（？どうしたんだろう この人 顔
が赤いな）」

「あつ はっはい そうです。」

「助かつたよ ありがとう（（^・^）」

「ツ！ いいえ どういたしまして（／＼／＼うわあ かっこいい
なあ）」

「あつ ヤバッ 遅刻なのに 急がなきゃ」

「あつ 私も急がないと」

あ～ 声かけないほうがよかつたかな？

俺のせいで余計遅れちゃったよね 申し訳ないなあ

「あ～ よかつた やつと学校に着いた。

職員室に早く行かなきゃ 先生になんて言われるか

なあ」

「どうぞお入りながり職員室に向かつて歩いた
しまりへると、職員室へしき場所に着いた。

「うーかな？まあいいや入つてみよつー。」

「コンコン

「あの～すいません転校してきた長谷川悠ですが
担任の先生はいますか？」

「はいわたしで～す」

1話目 ～登校～（後書き）

中途半端で終わってしまってすいません

転校生は・・・俺？（前書き）

再開！！！

転校生は・・・俺？

「はい わたしです
「すいません。遅くなりました」
「いえ 転校してきたばかりだから迷ったんでしょう?
それより、みんなを待たせてますのでやく教室に行きましょう」
「はい」

（教室）

ワイワイ ガヤガヤ

「ねえ サッ chin 先生来るの遅くない？」
「そうだね 先生のことだから
どっかでこけてんじやない？」
「ありそだから困るね・・・」

（廊下）

「いつたあい」

「大丈夫ですか？ケガとかしてませんか？」
「だつ 大丈夫！ いつものことだから」
「いつもこけてるんですか！？」
「うん」
「はあ まあ早く教室に行きましょう」
「あつ そだつた」

ドジな先生のおかげで遅くなつたけどまあいいか
先生ここにいるし
けどさすがに時間がやばいね

転校生は・・・俺？（後書き）
(あき)

短いんですけど・・・

感想よろしくお願ひします

イケメン? 誰が? (前書き)

前回よりは長めに書いたこと思こまかー。

イケメン？ 誰が？

（教室前廊下）

「じゃあ 呼んだら入ってきてくださいね」
「分かりました」

ガラガラ

（教室）

「はい。 静かにしてくださいね」
今日は転校生がきますよ～」

「はい！ 男ですか？ 女ですか？」
「男ですよ～」
「イケメンですか？」
「秘密です けど、見ればわかりますよ～」
「え～！」

（教室前廊下）

うわあ 入りにくいな～
俺、イケメンでもないのに・・・
期待させちゃったかな？

「入つてきてくれさ～い」

うわ～ どうしよう
どうにでもなれっ！」

（教室）

「入つてきてくれさ～い」
「失礼します」
「～ キヤー／＼／カツ コイー／＼／」
「～（チツ イケメンが入つてきやがつた）」
「？カツ コイーって誰が？」
「自覚ないところもい！」

サイド 美羽

転校生が来た。

モデルをやつてるみたいに背が高くスラ～としていた
そつそれと かつこいいなあ

私は、隣の席にいるサツチンに声をかけた

「ねえねえ！ 今入つてきた転校生の子かつこよくない？」
「うつうん／＼／ かつこいいね」

驚いた！ 恋愛に興味なさそうなサツチンが
顔を赤らめているなんて 珍しいな

サイド 悠

「はーい！ 静かに」

先生はやうこつて教卓をたたいた
すると、今までのせわぎが嘘のように静まり返つた
でも、静か過ぎると逆に話しへんだよな・・・

「では、血口紹介してくださいわー。」

「はい。 長谷川 悠です。 これからよろしくお願ひします」

まあ 名前だけでいいかな？

へたに変なことこつて悪い印象もたれるのもいやだしね

「じゃあ 聞きたい」とある人は手を挙げて
質問してください」

「はい はい はい！ 彼女はいますか？」

「？ いませんけど？」

どひじてこんな事聞くんだひつへ

まあ 転校生だからだよね・・・

「やつたあー」

「（女子に）こんな」と聞かれるとはひりやましこ てかムカつぐ

何がやつたあーなんだひつへ

「はいはい！ 好きな異性のタイプは？」

「好きな女性のタイプですか

え～と 基本的にはどんな人でもすきですよ?

いじめたりする人は嫌いですけど・・・

「よし！～（これは、がんばればチャンスありかも～）」

「もういいですか？ まだ聞きたいことがある人は

後で聞いてください！ 長谷川君もそれでいいですか？」

「別にいいんですけど・・・」

そこまで、気になるもんかな？ 普通の転校生に・・・

イケメン？ 誰が？（後書き）

「なんぐらいでいいですかね？」

感想よろしくお願いします！

MF4!? ··· って何? (前書き)

お気に入り登録1件!
うれしいです!

MF4!？ · · · って何？

· ·

「じゃあ 長谷川君の席は小鳥遊さんその後ろです。」

「はー。あの、小鳥遊さんはどうですか？」

「あ。それでました 小鳥遊さんは窓際の後ろから四番目の席の方です」

「そうですか。ありがとうございます」

だとすれば 僕は窓際の一一番後ろの席か
ラッキーだな · ·

「あなたが 小鳥遊さんですか？」

「これからよろしくお願ひします（ニコニ）」

「うつうん／＼ よつよろしくね。私のことは美羽でいいよ。」

「分かりました。 美羽さん」

「敬語はなしで、呼び捨てでいいよ。」

「分かつたよ。 美羽（ニコニ）」

「あう／＼（かつここよお）」

「どうした？ 顔が赤いよ？」

「えつ なつなんでもないよ？（鈍感だね · · · ）」

「そうか？」

「うそ」

「（くつせおー 僕たちの美羽さんに呼び捨てなんて
ついやめしこそおー 後で呼び出そうかな？ MF4を · · · ）」

MF4とは · ·

M = 美羽様

F = ファンクラブ

4 = 四天王

という美羽のファン

クラブのことである

「じゃあ 朝の会は終わりますよ～ 日直さん ビハヤ
「これで 朝の会を終わります。 礼」
「「「ありがとうございました」」」
「そういえば 長谷川君は転校してきたばかりで
何も分からぬと 思いますので 小鳥遊さん案内をしてあげてください」
「はい。」

よかつたー 無事に自己紹介を終える」とができたあー
(会話文ばかりだね^ ^)
あれっ? どこからか声が聞こえてきたような
気のせいかな

「美羽 学校を案内してくれる?」
「いいよ。 あつ サツチンも一緒にいい?
あつサツチンは私の親友だよ?」
「いいよ」
「はい。 私がサツチン」と 杉原 祥子です
「あなたがサツチンさんですか。 かわいいですね」
「えつ／＼／＼ (かつかわいいって言われた・・・)
「さつちゃんって呼んでいいですか?」
「うつうん いいよ」

「あらがとい」が一冊ある

「敬語じゃなくていいから」

「分かりました じゃなかつた、分かつた さつちゃん」

「じゃあ 行こうか まずはビーチに行きたい?」

うん どこから案内してもらいましょうかね
読書好きだから・・・
図書室からがいいかな?

「國學」之說，實為吾人所不曉。蓋「國學」者，即吾國固有之學術，非外國之學術也。

「そーなんだ? じゃあ図書室から行こうか」

•
•
•

「あつ そういうえば 僕のことは、悠でいいからね？」「わつ 分かつた。 悠 （／＼／＼何か照れるなあ～）」「ふえつ なつなに！？（聞いてなかつたあ）」「いやあ 僕のことは悠つて呼んでつて言つたの」「うつうん 悠／＼／＼（うわあ なんか顔が熱くなつてきたよ～）

「どうした 美羽？ 風邪？ 顔が赤いよ？」

そういうつて俺は美羽のおでこと自分のおでこを並べて熱があるかはかった・・・

• あらわ

「（／／／！？）かつ顔が近い！？（／／／プシュー）

L

「えつ！？ 美羽！？ だつ大丈夫？ ビツヒツよつ 気絶しちやつた」

「（鈍感も）ここまでくればす”こわね）」 サツチン

「ビツヒツヒツヒツヒツ マズは保健室に連れて行け」

（・・・意外と冷静だね・・・）

そつやつて俺は美羽をお姫様抱っこで保健室に連れて行つた。
途中で男子たちは睨んできたし、女子は肩を落としていたけど
なんだつたんだろう？

MF4!? ··· つて何? (後書き)

会話文がかなり多いですね (^ _ ^ :)
どうしようか?

感想などよりしきお願いします

前書き(あきがき) ～保健室(ほけんしつ) まつり

^
^

まつほつ保健室

「大丈夫かな～ 美羽」

「大丈夫よ。今は寝ているだけだから」

「そりなんですか？」

俺がベットに寝ている美羽が

心配でうろちょろしてたら

保健室の先生が状態を教えてくれた

「そり。 (けど、 苦労するわね。 小鳥遊さんも
杉原さんから聞いたところ、 長谷川くんが鈍感
だつてことがよくわかつたわ。)
もつすこしで目が覚めると思うわよ?」

「本当ですか！？」

「うそはつかないわよ」

「つづう～ん？ ここは？」

「気づいた？ よかつた？」

そういうて俺は美羽を抱きしめた。

「あつあう だつ大丈夫だから はつ離して？」

「あつ ごめんね」

「いついや？ 別にいいけど・・・
はつ恥ずかしかつただけだから！」

「せつせつ、まあいいや もつ放課後だし帰る?」

「あつもひみんな時間?」

「うそ、じつある? 帰るなら送りにこべナビ?」

「えつこつこや? いいよ 私一人で帰れるし
妹も連れて帰れなきゃいけないし」

「えつ 美羽 妹いるの?」

「うん。おねえちゃんもいのよ~ 3姉妹」

「妹とお姉ちゃん、何歳?」

「えつ妹は3歳でお姉ちゃんは中学2年だよ?」

「すげえ~ 偶然」

「何が?」

「ああ 僕にも弟と兄がいるんだけどな
弟は3歳で兄は中3なんだ
もしかすると、もう知り合いつたるかもね」

「わうなの? すういね~」

「ああ わういえば僕も弟迎えに行かなきゃ
いけね~し、一緒に行こつせ?..」

「それなら行く場所一緒にだしいいよ？」

美羽と一緒に帰ることになったので

歩き始める

「ありがとな。そういうえば美羽の妹何て名前？」

「ひなだけ? 悠の弟は?」

「ああ トモだよ 友達の友って書いて
トモ」

「へえ かわいい名前だね」

「ああ」

しゃべりながら何十分か歩いていると保育園に着いた

まつまつ保健室へ（後書き）

会話文が多かったので行を開けてみましたw

暇つぶしにバカテスト（前書き）

バカテストです

暇つぶしにバカテスト

バカテスト 社会

問 次の問いに答えなさい

『京都の本能寺で家来の明智光秀に攻撃され自害した人物は誰ですか?』

長谷川悠の答え

「織田信長」

作者のコメント

まだ習つてないはずなのにすごいですね

小鳥遊美羽、杉原祥子の答え
「留つてないので分かりません」

作者のコメント
そうですよね・・・

長谷川真の答え
「ノブちゃん」

作者のコメント
フレンドリーですね・・・

長谷川友、小鳥遊ひなの答え

「なにそえ～？」

作者のコメント
読みませんよね・・・

小鳥遊空の答え

「織田信長」

作者のコメント
さすが中学生！
真君は間違つてましたけどね・・・

瀬川祐太の答え
「豊臣秀吉」

作者のコメント
違います。

大学生が間違えるなんて・・・

作者の答え
「徳川家康」

みんなのつっこみ
あんたもまちがえてんじゃねーカよ！

暇つぶしにバカテスト（後書き）

おもしろかったですか？

ちなみに作者は頭がかなり悪いです・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4859w/>

パパ聞き！～オリ主は小学生！？～

2011年11月25日19時00分発行